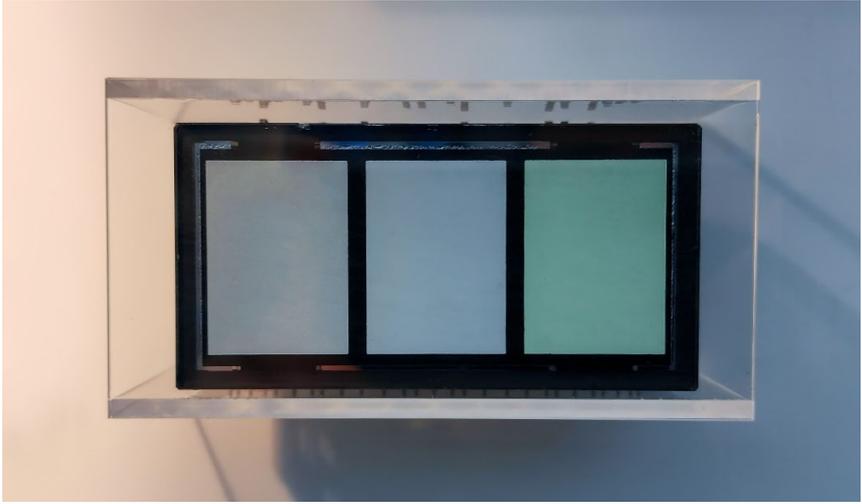


CRTとVFDのいいとこどりの素子でクジラが入る大画面を実現

登録番号	第 00371 号		
登録年月日	2024（令和6）年9月10日	登録区分	第一種 (大量生産品等同様のものが複数あるもの)

名称 (型式等)	ジャンボトロン用高輝度発光素子・トリニライト（型式名：JTS-1）		
所在地	千葉県茂原市		
	双葉電子工業株式会社		
所有者 (管理者)	双葉電子工業株式会社		
製作者 (社)	ソニー株式会社・双葉電子工業株式会社		
製作年	1984年		
初出年	1983年		
選定理由	<p>本資料は大型映像表示装置用の高輝度発光素子である。CRTとVFDの技術の利点を組み合わせ、高輝度5,000 cd/m²と小型化を実現した。本素子208,000個を用いたジャンボトロン（40 m×25 m）は、国際科学技術博覧会（1985、つくば）で実物大でクジラを表示できる大画面として注目された。開発時の資料情報、販売用カタログの実物、高精細化した素子JTS-2（1985）やJTS-8（1987）なども残されている。大型映像表示装置技術開発の歩みを示す製品として重要である。</p>		
登録基準	<p>一イ（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 二イ（国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）</p>		

公開・非公開	公開
--------	----

写真	
----	--

その他参考となるべき事項	
--------------	--